

2026 年 1 月 14 日

## 2025 年度第 4 四半期決算

バンク・オブ・アメリカは、2025 年度第 4 四半期決算を発表しました。

### 第 4 四半期業績【参考訳文(要旨)】

- 当期純利益は、前年同期における 68 億ドルに対し、76 億ドルとなりました。
  - 希薄化後 1 株当たり利益は、前年同期における 0.83 ドルから 18%増加して 0.98 ドルとなりました。
- 収益(支払利息控除後)は、純受取利息、資産管理手数料並びに販売及びトレーディング収益の増加を反映し、7%増加して 284 億ドル(FTE ベースで 285 億ドル)となりました。
  - 純受取利息は、10%増加して、158 億ドル(FTE ベースで 159 億ドル)となりました。これは、グローバル・マーケット事業に関連する純受取利息の増加、固定利付資産の金利更改、並びに預金及び貸出金残高の増加に起因しましたが、金利低下の影響により一部減殺されました。
- 貸倒引当金繰入額は、2024 年度第 4 四半期の 15 億ドルから減少して、13 億ドルとなりました。2025 年度第 3 四半期と比較して横ばいでした。
  - 貸倒償却(純額)は、2024 年度第 4 四半期の 15 億ドル及び 2025 年度第 3 四半期の 14 億ドルから減少して、13 億ドルとなりました。
- 非金利費用は、収益に関連するインセンティブ及び取引費用並びに人材、ブランド及び技術への投資の増加に起因し、4%増加して 174 億ドルとなりました。
  - 2025 年度第 3 四半期から 1%上昇しました。これは、主として技術への投資、収益に関連する費用の増加及び訴訟費用の増加に起因しましたが、FDIC 特別査定の計上額の減少により一部減殺されました。
  - 営業効率は、194 ベーシス・ポイント改善して 61%となりました。
- 平均普通株主持分利益率は、10.4%となりました。平均有形普通株主持分利益率は、14.0%となりました。
- 平均資産利益率は、0.89%となりました。
- バランスシートは引続き堅調
  - 平均預金残高は、3%増加して 2.01 兆ドルとなり、10 四半期連続の増加となりました。

- 平均貸出金及びリース金融残高は、全事業セグメントで増加したため、8%増加して 1.17 兆ドルとなりました。
- 平均グローバル流動資金は、9,750 億ドルとなりました。
- 普通株式等 Tier1(CET1)資本は、2025 年度第 3 四半期から 10 億ドル減少して、2,010 億ドルとなりました。
- CET1 比率は、11.4%(標準的アプローチ)となり、最低所要自己資本比率を大きく上回りました。
- 21 億ドルの普通株式配当及び 63 億ドルの株式の買戻しにより株主に対して 84 億ドルを還元しました。
- 普通株式 1 株当たり純資産は、8%増加して 38.44 ドルとなりました。普通株式 1 株当たり有形純資産は、9%増加して 28.73 ドルとなりました。

プレスリリース原文および注記は[こちら](#)をご参照ください。

※特に注記のない限り、記載されている比較(%)は前年同期比、また貸出金および預金残高は平均して表示しています。